

教科 (科目)	理科 (化学基礎)	単位数	2 単位	学年 (コース)	2～4 年次
使用教科書	実教出版『高校化学基礎』				
副教材等	なし				

1 学習目標

<p>物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、観察や実験に関する基本的な技能を身に付け、科学的に探究する力を養う。 物質とその変化に主体的に関わり科学的に探究しようとする態度を養う。
--

2 指導の重点

<ul style="list-style-type: none"> 物質の構成粒子と化学結合、および物質が様々な変化をして他の物質をつくることを理解する。 身近な物質や現象を通して基本的な化学の原理・法則を理解し、科学的な自然観や思考力を育成する。 化学は、物質を探究し創造する学問として、人類に貢献していることを確認する。
--

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化について理解し、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	身近な物質とその変化を理解し探究する過程を通して、事象を科学的に分析・判断し、的確に表現することができる。	物質とその変化の理解に主体的に関わり、科学的に探究しようとしている。

4 評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査や小テストの分析 ・ワークシートやレポートなど 課題の内容から評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・定期考査や小テストの分析 ・実験や観察への取り組み ・ワークシートやレポートなど 課題の内容から評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業へ出席や取り組み ・ワークシートやレポートなど 課題の内容から評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数と領域	学習活動 (指導内容)	評価の観点	評価方法
4	1 物質の構成	19 1-1 物質の探究	<ul style="list-style-type: none"> 物質の分離・精製や元素の確認を通して、混合物、単体、化合物について理解する。 粒子の熱運動と温度、および物質の三態変化の関係について理解する。 原子の構造と電子配置、周期表を理解する。 	a b c	課題と前期中間考査
5		1-2 物質の構成粒子			
6					
7	2 物質と化学結合	19 2-1 イオン結合	<ul style="list-style-type: none"> イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 イオン結合とイオン結晶の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 分子からなる物質の性質を理解する。 金属結合及び金属の性質を理解する。 	a b c	課題と前期期末考査
9		2-2 共有結合 2-3 金属結合			
10	3 物質の変化	16 3-1 物質量と化学反応式	<ul style="list-style-type: none"> 物質量と質量や気体の体積の関係、濃度を理解する。 化学反応式は化学変化と量的関係を示すことを理解する。 酸と塩基の性質、強弱と電離度の関係を理解する。 水素イオン濃度とpHの関係、中和反応を理解する。 	a b c	課題と後期中間考査
11		3-2 酸と塩基			
12		16 3-3 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元が電子の授受によることを理解する。 酸化還元反応と日常生活や社会とのかかわりについて理解する。 	a b c	課題と後期期末考査
1					
2					

計 70 時間 (50 分授業)

6 課題・提出物等

<ul style="list-style-type: none"> ワークシートや小テストを課し、提出を求めます。定期考査はこの内容をもとに行います。 観察・実験ではレポートの提出を求めます。

7 担当者からの一言

<p>真面目にコツコツと学ぶ姿勢を求めます。授業に熱心に取り組んで課題を提出し、復習をていねいに行って定期考査に臨んでほしい。化学の知識を深め、論理的な思考を身につけて下さい。</p>
--